

令和8年度新規

ため池整備事業（地震対策）

峠谷池

事業計画書

都道府県名	岡山県
事業所在地	美作市南海488
事業主体	岡山県
地区名	峠谷池地区

目 次

第1章	目 的	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第2章	地域及び地積	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第3章	現 況	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
第4章	一般計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	1 6
第5章	主要工事計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	3 1
第6章	附帯工事計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	4 2
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	・・・・・・・・	4 2
第8章	環境との調和への配慮	・・・・・・・・	4 2
第9章	換地計画の概要	・・・・・・・・	4 3
第10章	事業費の総額及び内訳	・・・・・・・・	4 7
第11章	効 用	・・・・・・・・	4 8
第12章	関連する事業	・・・・・・・・	4 8
第13章	現況・計画図面	・・・・・・・・	4 9
添 付 資 料			

第1章 目 的

本ため池は、受益地7.0haを支配する貯水池である。近年の気象条件、地震等の災害に対する安全性が不足しており、堤防決壊の危険にさらされている。また、余裕高が不足している。

よって、堤体の安定とかんがい用水の確保のため、本事業により堤体や洪水吐等を改修し、受益農家及び堤体下流住民の不安解消と堤防決壊による被害防止を図る。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
ため池整備事業(地震対策)	美作市南海488

第2節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
(ため池整備事業 -地震対策)	美作市	7.0					7.0	農振A=6.0ha 農振外A=1.0ha
	合 計		7.0				7.0	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	奈義	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	R5	4月～ 9月	10月～ 3月		
平均気温 (°C)		21.5	7.2	14.3	
降 水 量	平 均 (mm)	202.6	63.2	1,594.5	
	基準年	R5	R5	R5	
降水日数	平 均 (日)	12.2	9.2	128.0	
	基準年	R5	R5	R5	
根 雪 期 間		—	0日	0日	
無 霜 期 間		—	—	—	
最 多 風 向		北北東	北	北北東	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 奈義	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率
観測期間 日雨量：T09年～R3年 時間雨量：T09年～R3年 干天日数：T09年～R3年															
最大日雨量 (mm)	175.0	S47 7.11	1/55	172.5	H.30 7.6	1/50	167.0	S.46 7.23	1/40	150.0	S.40 7.22	1/21	150.0	S.51 9.11	1/21
最大時間雨量 (mm)	68.5	S38 7.28	1/50	66.0	H.14 7.10	1/40	63.0	S.47 7.20	1/30	63.0	S.61 8.21	1/30	60.0	S.53 9.16	1/23
最大4時間雨量 (mm)	129.5	S.38 7.11	1/174	107.5	S.46 7.23	1/43	107.0	S.53 9.16	1/42	101.0	H.10 10.17	1/28	94.0	H.15 8.8	1/18
最大4日連続雨量 (mm)	495.0	S.51 9.8	1/200超	420.0	H.30 7.4	1/130	414.0	S.47 7.9	1/118	270.0	S.40 7.20	1/13	270.0	S.46 7.22	1/13
最大連続干天日数 (日)	44	R2 11.3	1/200超	41	S.61 1.5	1/141	36	S.46 11.9	1/41	35	H.10 8.11	1/32	33	H.18 10.8	1/19

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間 年～年	既往最高 潮位 (m)	さく望平均 満潮位 (m)	上下弦平均 満潮位 (m)	平均 潮位 (m)	上下弦平均 干潮位 (m)	さく望平均 干潮位 (m)	既往最低 潮位 (m)	備考

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地 標高(m)		備考		
		傾斜 区分	1/1000		1/100	1/20	1/11.5	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計		最高	最低
			～ 以下	～ 1/100	～ 1/20	～ 1/11.5	～ 以上				8° ～ 10°	10° ～ 15°							
ため池整備事業 (地震対策)	面積 (ha)	—	—	7.0	—	—	7.0		—	—	—	—	—	—		132.3	102.3		
	比率 (%)			100.0			100.0												
	面積 (ha)																		
	比率 (%)																		
合計	面積 (ha)	—	—	7.0	—	—	7.0		—	—	—	—	—	—					
	比率 (%)			100.0			100.0												

(第4表-1-2)

項目 土壤統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考		
	土 壤 断 面								事 業 名					
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈澱物	土 性			泥炭層 黒泥層 及 び グライ層	堆 積 様 式	母 材	ため池整備 事業(地震 対策)		計	
					表土	下層土								
一層					二層	三層								
褐色森林土壤 貴布禰2統	黒褐色	有	—	—	L黒褐	L褐	—	無	—	—	7.0	7.0		
計											7.0	7.0		

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程		備 考	
		0%	0~25%	25~50%	50%以上	0mm	3mm 未 満	3~5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの		
	面積 (ha)												
	比率 (%)												

2. 土地分類

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考	
	一級地 (ha)	二 級 地				三 級 地				四 級 地				
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
計														※は傾斜以外 の要因によるもの

(第4表-2-2)

市町村名	干		拓		計 (ha)	備 考
	一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)		
計						

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	市町村名	耕 地					山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 の 樹 園 地 (ha)	用 材 林 (ha)					
ため池整備事業(地震対策)	美作市	7.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.0	
合 計		7.0	—	—	—	—	—	—	—	—	7.0		

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別	個人有	国 有	県 有	市 有	計	備 考
	区分						
た め 池	面 積 (ha)	7.0	—	—		7	
	受益者数 (人)	24				24	
	筆 数 (筆)	77				77	
	権 利 関 係	個人				個人	
	備 考 (関係戸数)	(24)				(24)	
整 備 事 業	面 積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
(地 震 対 策)	面 積 (ha)						
	受益者数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面積 (ha)	7.0				7.0	
	受益者数 (人)	24				24	
	筆 数 (筆)	77				77	
	権 利 関 係	個人				個人	
	備 考 (関係戸数)	(24)				(24)	

第3節 水利状況

1. 用水状況

毎年4月中旬から用水系統順にかんがいしている。

(1) 用水系統
別紙参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備考
		100ha以上		~50ha		50ha未満		箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	m³/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
ため池整備事業 (地震対策)	貯水池					1	7.0	1	7.0			1	0.030	0.030	
	井 堰														
	自然 取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	7	1	7			1	0.030	0.030	
合 計					1	7.0	1	7.0			1	0.030	0.030		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
ため池整備事業 (地震対策)	貯水池	峠谷池	7.0	均一型	堤高H=10.5m 堤長L=39.1m	不明	堤体の安定検討にて安全率不足、余裕高不足、また、緊急放流工が未設置で非常に危険な状態であるため。	峠川
	井 堰							
	自然 取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計		1	7.0					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)		備 考
				かんがい期最大 不 足 水 量		かんがい期 総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平 均 (m ³ /s)	基 準 年 (m ³ /s)	平 均 (千m ³)	基 準 年 (千m ³)			
	合 計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水 質	被害量 (t)	備 考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
ため池整備事業 (地震対策)	7.2			7.2	7,385	208,216	54,552	103,472	800,082	1,173,707	
合計	7.2			7.2	7,385	208,216	54,552	103,472	800,082	1,173,707	

2. 排水状況

(1) 排水系統
該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名	排水面積						計		排水慣行 (m ³ /S)	現況排水能力 (m ³ /S)	備考
		50ha以上		~50ha		50ha未満		箇所	ha			
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
ため池整備事業 (地震対策)	自然	排水路										
		水門										
	機械	排水機										
		水門及び排水機										
		排水路及び排水機										
	計											
合計												

(イ)改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益 面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
	施設名								
ため池整備事業 (地震対策)	自然	排水路							
		水 門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合 計									

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均 減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路概況

1. 道路概況
該当なし

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の 要 否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目 総 数 (人)	第1次産業			第2次産業 (人)	第3次産業 (人)	(人)	そ の 他 (人)	備 考							
		農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)												
美作市	12,541	1,303	60	11	3,937	6,988									242	
計																
比率 (%)	100	10.39	0.48	0.09	31.39	55.72									1.93	

中国四国農林水産統計データ集 (令和2年) 第1部概況 5人口 (2) 産業別就業者数 (15歳以上)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村別名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数戸数(戸)										1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		主副業別農家数(戸)			備考					
		例外規定の適用を受けるもの	0.5 ha未満	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	主業農家	準主業農家	副業的農家						
美作市	1,501	17	487	632	177	59	54	38	37							0.96	0.22	0.37	1.55	-	1.55	-	-	111	174	1,190	
計	1,501	17	487	632	177	59	54	38	37							0.96	0.22	0.37	1.55	-	1.55	-	-	111	174	1,190	
比率(%)	100.0	1.1	32.4	42.2	11.8	3.9	3.6	2.5	2.5																		

2020年センサス報告書より

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜										備考
	トラクタ		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		鶏				
	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(100羽)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)									
美作市	1,997	1,781	1,469	1,429	1,229	1,177					-	3	188	7	-	-	107	4			
計	1,997	1,781	1,469	1,429	1,229	1,177					-	3	188	7	-	-	107	4			
100戸当たり数量(台、頭)	112		103		104						-		-		-		-				
利用戸数割合(%)	119		95		78																

動力農機具は2015年センサス報告書、主要家畜は2020年センサス報告書より

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		美作市						計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)		3,050									
総本地面積 (ha)		-									
作物名	区分	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積 当たり 収量 (kg/10a)		
	田	表作	水稻	1,410	488				1,410	488	
小計		1,410					1,410				
畑	大豆		128	97				128	97		
	小計		128					128			
樹園地											
	小計										
計		1,538									
市町村別 延べ作付率 (%)											

中国四国農林水産統計データ集 (令和2年) より

5. 農業の動向

2010年～2020年センサスより

(第7表-5)

項目	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (0年を 100とする 指数)	総農家数	81	61	耕地	95	82	水稻	100	93	乳用牛	215	-	トラクタ	82	-	山振 特農 過疎 豪雪 辺地 電源	A:2020年 B:2015年 C:2010年
	主業農家数	84	73	田	93	78	麦類	-	880	肉用牛	-	44	動力田植機	79	-		
	準主業農家数	52	34	畑	92	94	豆類	71	88	豚	-	-	コンバイン	79	-		
	副業的農家数	90	68	樹園地	814	657				採卵鶏	124	88					
変化の理由	総農家数の減少と高齢化による農業の衰退			都市化による耕地の減少 樹園地においては、耕作放棄地を活用した果樹栽培の取組を行っており増加している			農家の減少による作物の栽培面積の減少 麦類においては、美作市が地域振興作物としており、増加している			減少傾向にある			農家の減少による農機具の所有の減少				

第6節 地域環境の概況

本地区は岡山県美作市の中央部に位置する水稲経営地帯である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本ため池は、受益地7.0haを支配する貯水池である。近年の気象条件、地震等の災害に対する安全性が不足しており、堤防決壊の危険にさらされている。また、余裕高が不足している。
よって、堤体の安定とかんがい用水の確保のため、本ため池は早急に改修の必要性を要する。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	ため池整備事業(地震対策)												計 (ha)	
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	輪耕地 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	輪耕地 (ha)	小計 (ha)		
事業目的														
災害防止	7.0	-	-	-	-	7.0								7.0
計	7.0	-	-	-	-	7.0								7.0

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

該当なし

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		区分											
ため池整備事業(地震対策)	現況	7.0						7.0				7.0	
	計画	7.0						7.0				7.0	
計	現況	7.0						7.0				7.0	
	計画	7.0						7.0				7.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ため池整備事業（地震対策）	現																											
	況																											
	計																											
	画																											

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳 (t)		備 考		
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面 積当 たり 収量 増加			
ため池整備事業（地震対策）	水田	表作																
		裏作																
		計																
	普通畑	表作																
		裏作																
		計																
		樹園地																
		計																
		合計																

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考		
				区分	現況	計画	増減			
				人力						
				機械力						
						人力				
						機械力				
						人力				
						機械力				
						人力				
						機械力				
						人力				
						機械力				
						人力				
						機械力				
計										
合計										

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	換耕耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分 戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)								備考
		田	換耕耕地	畑			計			
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反植		()	()	()	()	()	()	()	()	
		()	()	()	()	()	()	()	()	

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
						a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	D=c/ (1-α) (千m ³)	e (千m ³)	f (千m ³)	G=c-f (千m ³)		
ため池整備事業 (地震対策)											峠谷池	16.2		
	計													

(2) 用水対策
(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
			事業名						
	直接	間接	ため池整備事業(地震対策)	計					
貯水池名									
峠谷池	0.885		7.0	7.0	16.2	16.2	1	0.03	

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
計				

(2) 索道

(第12表-2)

路線名 \ 項目	能力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備考
計				

2. 路線配置図
該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地改良利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備 考

(2) 末端道水路配置図
該当なし

2. 土壤改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壤 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100a)	ha当たり所要量			備 考
			H2O	KCL			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

1/200年降雨強度式

$$\gamma e = 0.75 * 79.42 = 59.60 \text{ mm/h}$$

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節量 (m ³ /s)	ピーク時調節後流量 (m ³ /s)	調節後最大流量 (m ³ /s)	調節後の最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)
峠谷池	0.885	1.12	17.580							

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
峠谷池	0.885		17.58	16.2					

4. 洪水調節検討

該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管理計画

該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い 要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

(3) 末端導水路配置図
該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{l}{s}/ha$)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備考
	事業名								
			計						
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)分	土壌硬度	備考
	事業名					
			計			
計						

3. 客土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m^3)	土 壌 の 性 質		備考
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)%	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s/ha)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

確率1/200年

日雨量 206.9 mm

時間雨量 83.0 mm

(2) 計画洪水量

17.580 m³/s

2. 堤体補強計画

堤体は、所定の安定性が確保できるよう堤体及び洪水吐の改修を行うとともに、上流法面は波止ブロック、筋芝、下流法面は腰ブロック、張芝にて保護する。

3. 取水施設改修計画

堤体の改修範囲に含まれることから、併せて取水施設の改修を行う。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

(第17表-1)

名称	型式	流域面積(km ²)		位置		基盤地盤 地 質	貯水量(千m ³)		備 考	
		直 接	間 接	堤 高 (m)	堤 長 (m)		堤体積 (千m ³)	総貯水量		有効貯水量
堤 体	傾斜遮水 ゾーン型	0.885		10.5	39.1	13.9	粘板岩	16.2	16.2	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取 水 施 設	型式	取水量 (m ³ /s)	放 流 施 設	型式	放流量 (m ³ /s)	備 考
	越流式	17.580			ため池栓	0.030		底樋 HPφ1000	5.030	

2. 頭首工

(第17表-2)

名称	—			位置		—			備 考
	型式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		取水 位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設		
固定部			可動部	計					

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (kw)	台 数 (台)	

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	動 力 ()	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

(2) 除礫

(第20表-2)

項目 区分	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

区分		項目	面積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造成工法				
計					

(4) 地目変換

(第20表-4)

区分	項目	面積 (Ha)	工 法	備 考
計				

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構 造	備 考
計					

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構 造	備 考
計					

2. 土壤改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質 資材量 (t)	有機質 資材量 (t)	備 考
計						

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

(第21表-1)

名称	位置			堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤地盤 地 質	貯水量 (千m ³)		備 考
	型 式	流域面積(km ²)						総貯水量	有効貯水量	
堤 体		直 接	間 接							
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取 水 施 設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放 流 施 設	型 式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名 称	位置			計 画 洪水位 (m)	付帯施設	備 考
	堤 長 (m)					
型 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計	

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	型 式	延 長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤 標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設
該当なし

4. 埋立

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面積 (ha)	整 理 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
計						

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考
計					

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
			計														
合計																	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ(cm)	ha当たり標準除礫量(m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

4. 除礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の 厚さ (cm)	ha当たり標準 除礫量(m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延 長 (m)	流 量 (m ³ /S)	構 造	備 考
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構 造	数 量	備 考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なし

(第24表)

名 称	位 置				備 考		
	型 式	流域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 千(m ³ /s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)
堤 体	傾斜遮水ゾーン型	0.885	10.5	39.1	13.9	4.1	16.2
洪水吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)
	ラビリンズ堰式	17.580	B=5.54 H=1.00			ため池栓	0.030

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

上流法面・・・波止ブロック、筋芝
下流法面・・・腰ブロック、張芝

(2) 漏水防止工

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 令和8年度

完了 令和12年度

第8章 環境との調和への配慮

工事中は濁水を流出させないように配慮し、下流に生息している動植物への影響を極力軽減する。

また、工事施工に際して、希少動植物が発見された場合は、その時点で保全方法について関係機関と協議する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域 の位置の概略	面積 (㎡)	換地 の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法
該当なし

2. 清算の方法
 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則
 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

単位 : 千円

費 目	総 量		備 考
	事 業 量	事業費(千円)	
純 工 事 費	堤長 L=39.1m	290,000	
測 量 試 験 費		35,000	測量費・実施設計費 工損調査費
用 地 補 償 費		4,000	用地買収・補償
小 計		329,000	
工 事 雑 費		8,100	2.5%以内
小 計		337,100	
県 事 務 費		16,700	5.0%以内
合 計		353,800	

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項 目	年総効果(便益)額	年増加農業所得額		備 考
	区 分	(千円)	(千円)		
ため池整備事業 (地震対策)	維持管理費節減効果	△ 24	25		
	災害防止効果(農業)	12,049	11,539		
	災害防止効果(一般)	35,684			
	災害防止効果(公共)	4,615			
	計	52,324	11,564		

〈 参考 〉 総費用: 284,850 千円
 総便益費 : 1,084,567 千円
 総費用総便益比 3.80

第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容

第13章 現況 ・ 計画図面

1. 計画一般図

別添

2. 被害想定図

別添

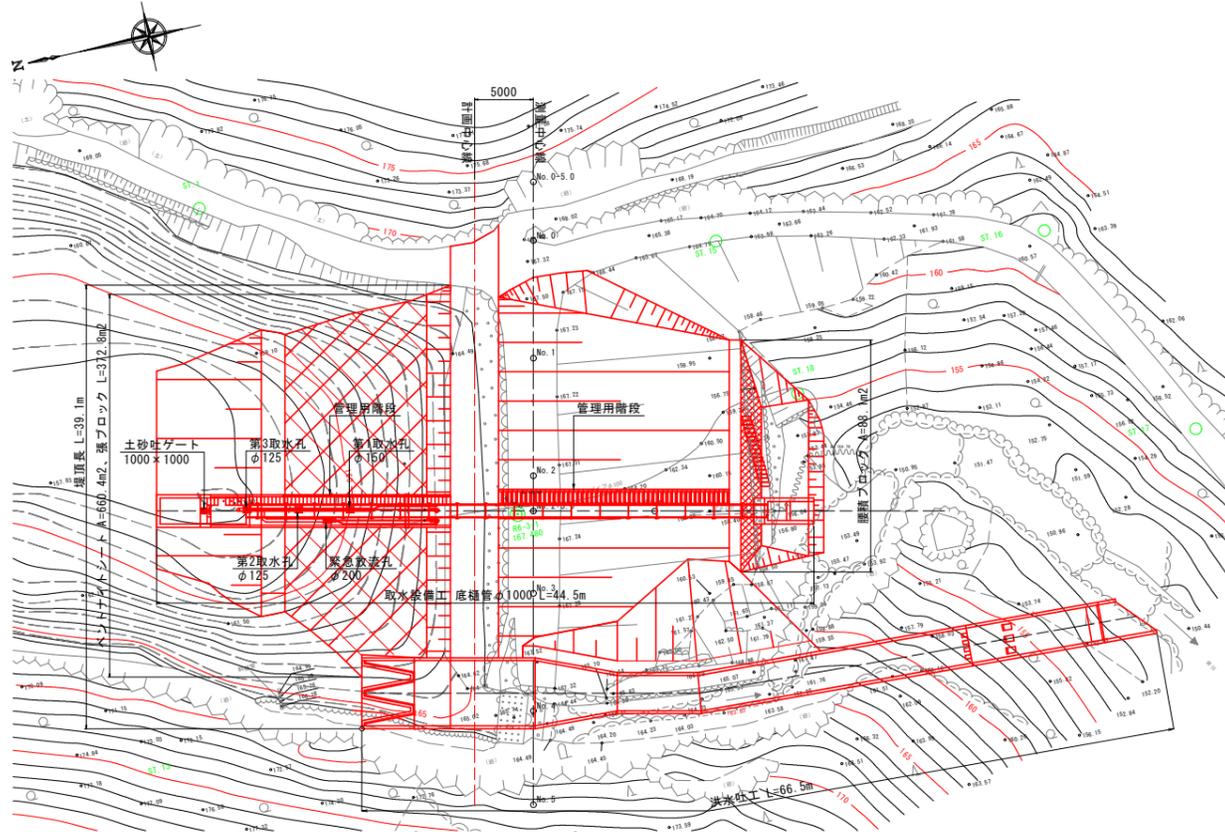
3. 用排水系統図

別添

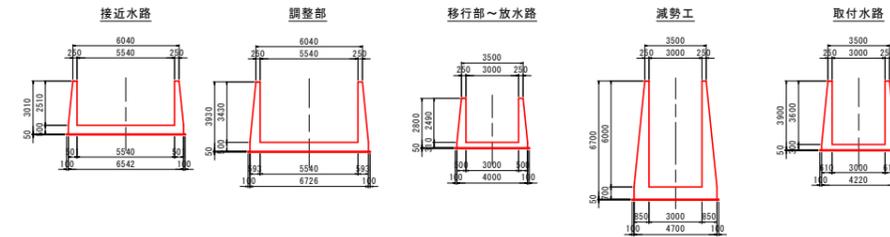
計画一般図



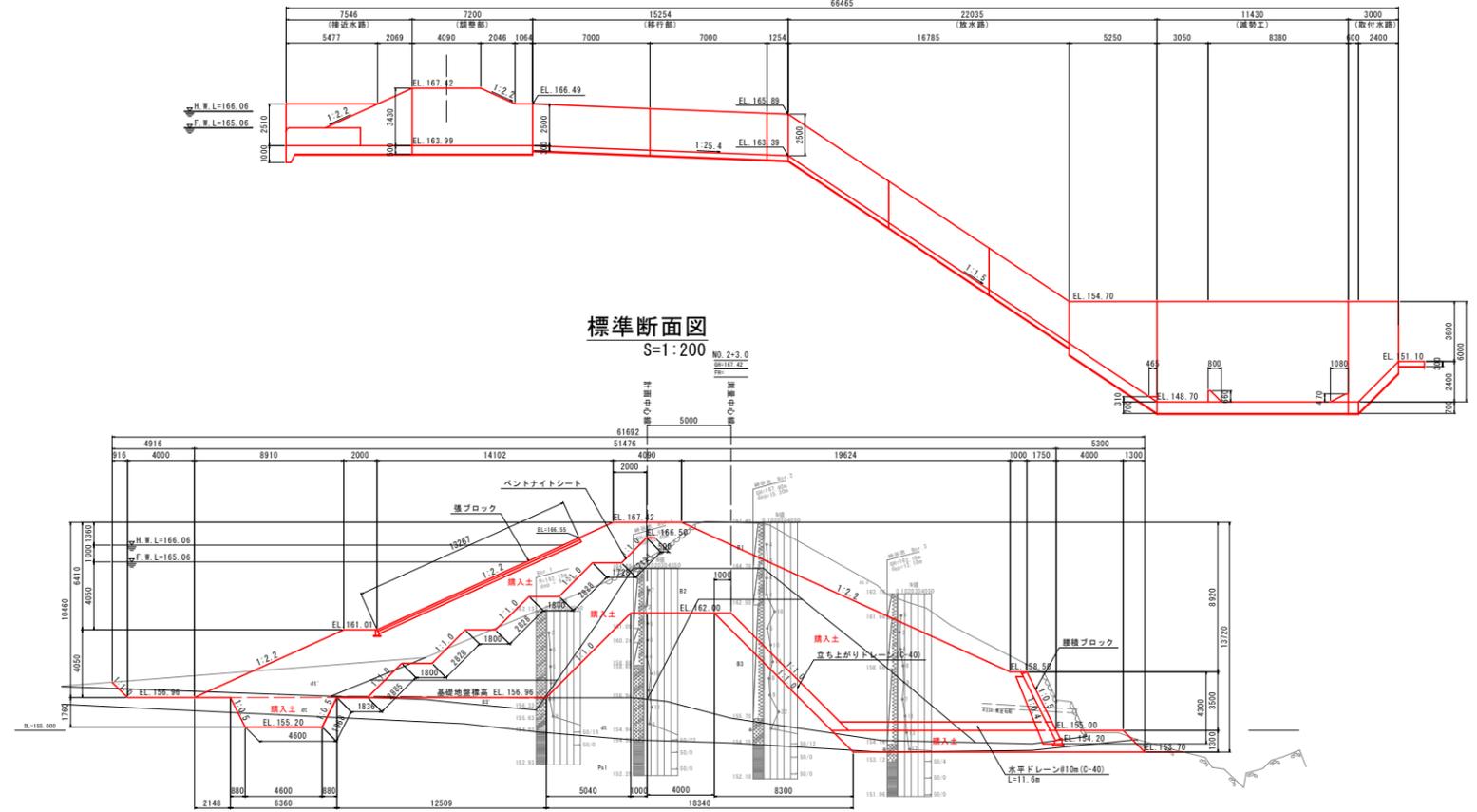
計画平面図
S=1:300



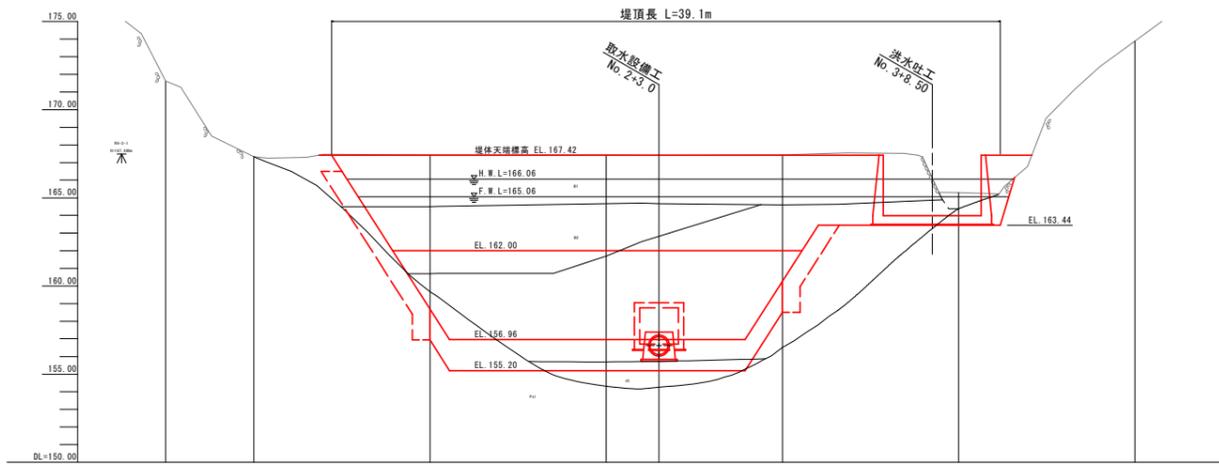
洪水吐工
S=1:200



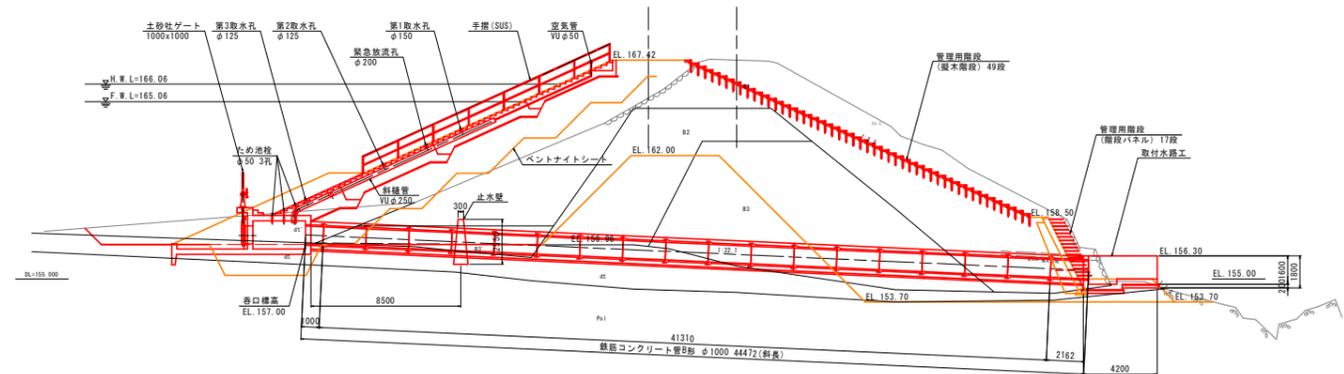
標準断面図
S=1:200



縦断面図
S=1:200



取水設備工
S=1:200



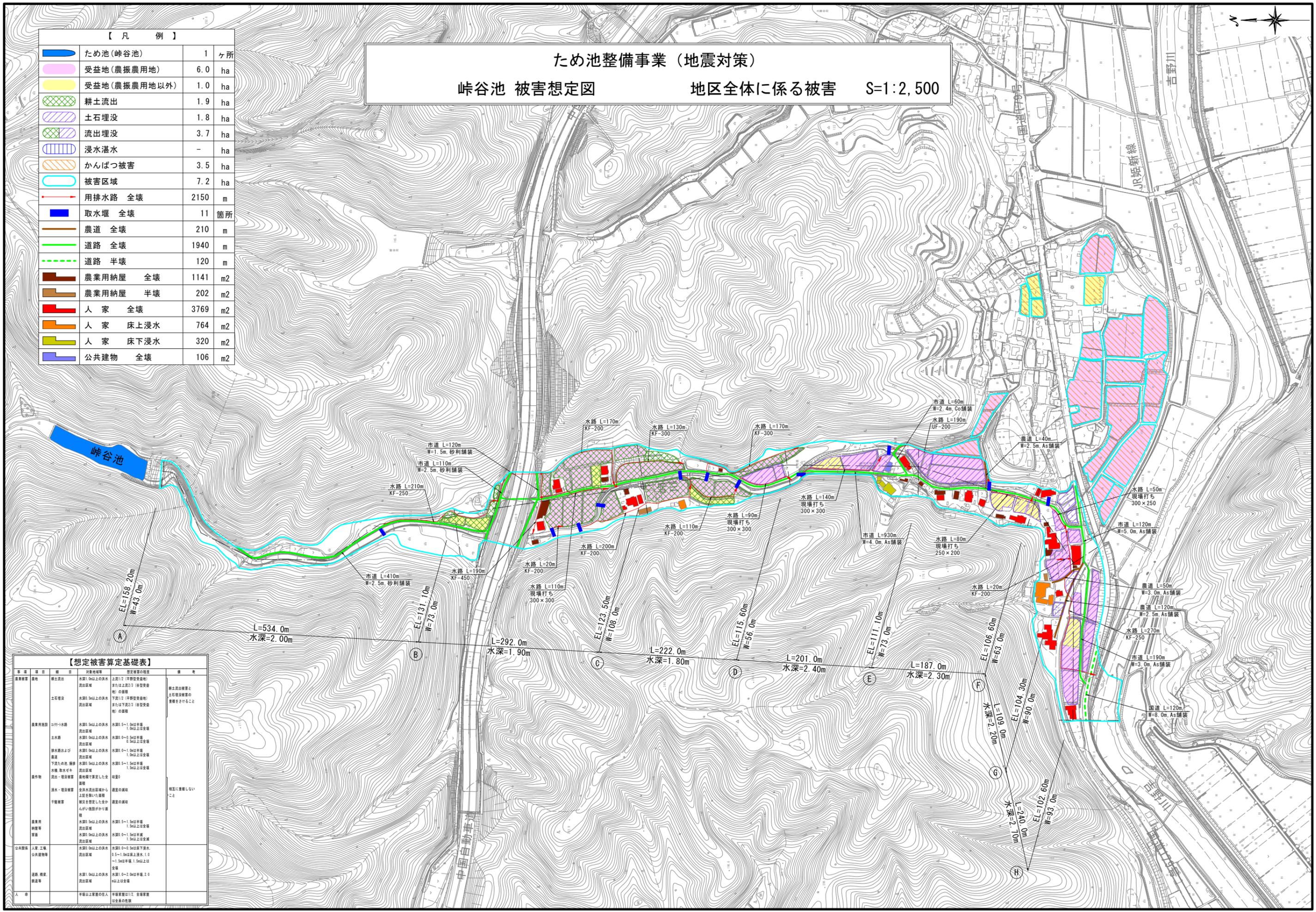
地盤高	171.66	167.23	167.44	167.42	167.24	167.89
追加筋	-5.00	0.00	10.00	20.00	23.00	05.00
構造筋	0.00	0.00	10.00	10.00	7.00	10.00
測点	No. 0-1	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5



ため池整備事業（地震対策）
峠谷池 被害想定図 地区全体に係る被害 S=1:2,500

【 凡 例 】

	ため池(峠谷池)	1	ヶ所
	受益地(農振農用地)	6.0	ha
	受益地(農振農用地以外)	1.0	ha
	耕土流出	1.9	ha
	土石埋没	1.8	ha
	流出埋没	3.7	ha
	浸水湛水	-	ha
	かんぱつ被害	3.5	ha
	被害区域	7.2	ha
	用排水路 全壊	2150	m
	取水堰 全壊	11	箇所
	農道 全壊	210	m
	道路 全壊	1940	m
	道路 半壊	120	m
	農業用納屋 全壊	1141	m ²
	農業用納屋 半壊	202	m ²
	人家 全壊	3769	m ²
	人家 床上浸水	764	m ²
	人家 床下浸水	320	m ²
	公共建物 全壊	106	m ²



【想定被害算定基礎表】

項目	対象地等	想定被害の程度	備考
農業被害	耕土流出	水深1.0m以上の洪水流出区域 上流1/2(平野型受益地)または上流2/3(谷型受益地)の面積	耕土流出被害と土石埋没被害の重複をさけること
	土石埋没	水深0.5m以上の洪水流出区域 下流1/2(平野型受益地)または下流2/3(谷型受益地)の面積	
農業用施設	以外+水路	水深0.5m以上の洪水流出区域 水深0.5~1.0m以上全壊	1.0m以上全壊
	排水路	水深0.5m以上の洪水流出区域 水深0.0~0.5m以上全壊	0.5m以上全壊
	排水路および	水深0.5m以上の洪水流出区域 水深0.0~1.0m以上全壊	1.0m以上全壊
	下流ため池、溝、水路、取水せき	水深0.5m以上の洪水流出区域 1.5m以上全壊	1.5m以上全壊
農作物	流出・埋没被害	農地等で発生した全壊	図面0
	浸水・埋没被害	全排水流出区域から上流を離れた農地	調査の成績
干ばつ被害	被害を想定した全かんがい施設から影響	調査の成績	相互に影響しないこと
	農業用納屋等	水深0.5m以上の洪水流出区域 水深0.0~1.5m以上全壊	1.5m以上全壊
公共関係	人家、工場、公共建物等	水深0.0m以上の洪水流出区域 0.5~1.0m以上床上浸水、1.0~1.5m以上全壊、1.5m以上全壊	
	道路、橋梁、鉄道等	水深1.0m以上の洪水流出区域 水深0.0~2.0m以上全壊、2.0m以上全壊	
A. 市	半壊以上被害の発生	半壊被害は1/2、全壊被害は全員の危険	



【 凡 例 】		
	ため池(峠谷池)	1ヶ所
	受益地(農振農用地)	6.0 ha
	受益地(農振農用地以外)	1.0 ha
	用排水路	
	取水堰	

ため池整備事業(地震対策)
峠谷池 現況用水系統図 S=1:2,500

